冬休み明けリセット診断（中3）

Class_____ No._____ Name_____

■ **点数をつけるテストではありません**　2学期までの**どこが薄いか**を見つける15分の健康診断です。（未習は飛ばしてOK）
やり方　①解く → ②裏面で答え合わせ → ③「できた数」を裏の**診断マップ**へ → ④薄いブロックだけ1週間で戻す。

A　過去分詞　名詞を説明する形の土台。過去分詞を書こう。

① make		② build		③ find	
④ eat		⑤ sell		⑥ teach	

B　分詞の後置修飾　場面に合う文にしよう。(1)(2)は正しいほうを○、(3)は1語書く。

(1) 写真の人を説明する「ギターをひいている女の子」	The girl（ playing ／ played ）the guitar is Yuka.
(2) おみやげを渡す「京都で作られたカップです」	This is a cup（ making ／ made ）in Kyoto.
(3) 話す「英語で書かれた手紙をもらった」（write）	I got a letter（　　）in English.

C　関係代名詞（主格）　(1)(2)は who か which を書く。(3)は正しいほうを○。

(1) 話す「カナダに住んでいる友だちがいます」	I have a friend（　　）lives in Canada.
(2) 駅で案内する「これは空港へ行く電車です」	This is the train（　　）goes to the airport.
(3)「ピアノを上手にひく男の子を知っています」	I know a boy who（ play ／ plays ）the piano well.

D　目的格と接触節　(1)(2)は語順が正しいほうを○。(3)はいらない1語に×。

(1) 本を見せる「これは私が昨日読んだ本です」	This is the book（ I read yesterday ／ I yesterday read ）.
(2) 紹介する「佐藤先生はみんなが好きな先生です」	Ms. Sato is a teacher（ everyone likes ／ likes everyone ）.
(3) 感想を言う「先週見た映画はよかったです」	The movie that I saw it last week was great.

E　現在完了と過去形　入試でも外せない判断。正しいほうを○でかこもう。

(1) 話す「先週その映画を見ました」	I（ have seen ／ saw ）that movie last week.
(2) 今も友だち「ケンとは3年間ずっと友だちです」	Ken and I（ have been ／ were ）friends for three years.
(3)「北海道に行ったことはありますか」	Have you ever（ been ／ went ）to Hokkaido?

F　自分の番　習った形で2文。書き出しに続けて書こう。

① 学校でいちばん好きな場所	The place I like best at school is
② なりたい人	I want to be a person who

☆豆ポイント！休みのあいだに消えたのではなく、**使わなかっただけ**。声に出して使えば、戻ってきます。

裏面に解答があります（先に見ない！）

全教科書対応／中3・2学期までの総点検

冬休み明けリセット診断（中3）

【解答・かんたん解説】

丸つけをしたら、ブロックごとの「できた数」を下の診断マップに書こう

A〜C　過去分詞／分詞の後置修飾／関係代名詞（主格）

A	① made　② built　③ found　④ eaten　⑤ sold　⑥ taught
B	(1) playing　(2) made　(3) written
C	(1) who　(2) which　(3) plays

Bは「している」なら -ing、「された」なら過去分詞。C(1)(2)は that も正しい（今回は who・which で）。C(3)は who が a boy（1人）を指すので、動詞に s がつきます。

D〜F　目的格と接触節／現在完了と過去形／自分の番

D	(1) I read yesterday　(2) everyone likes　(3) it に×
E	(1) saw　(2) have been　(3) been
F	例：① The place I like best at school is the library.　② I want to be a person who can help other people.

D(3)は that が the movie を受けているので it はいりません（よくある誤り）。E(1)は last week があるので現在完了は使えません。 Fの自己チェック：① is のあとに場所が続いているか。② who のあとに動詞があるか。

診断　診断マップ　できた数を書いて、いちばん薄いブロックから戻そう。

ブロック（できた数）	薄いまま入試に入ると	この1週間の一手
A 過去分詞　／6	**受け身・現在完了・分詞が全部止まる**	不規則動詞の3段活用を1日6語、声に出す（最優先）
B 分詞　／3	長文で、名詞のうしろの説明がつかめない	「分詞の定着ドリル」を1枚
C 主格　／3	人やものを説明する文が書けない	「関係代名詞の定着ドリル」を1枚
D 目的格・接触節　／3	長文で、文の切れ目を見失う	「入試チャレンジ・整序」L2 No.1 で語順を組む
E 完了と過去　／3	「いつのことか」がずれて、語形の問題で落とす	「現在完了の定着ドリル」を1枚
F 自分の番　／2	英作文の問題で手が止まる	「入試チャレンジ・条件英作文」の1枚目を書く

★ Aが薄い人は、ほかより先にA。全部を戻す時間はありません。1週間に1ブロックで十分です。

■ ×が2つ以上ついたブロックがある人へ（学び直しコース）

① そのブロックの問題文を声に出して読む → ② 解答を赤で写す → ③ 答えを見ずにもう一度そのブロックだけ解く → ④ 先生に見せてチェックをもらう。

1回10分で十分です。**全部やり直す必要はありません**—薄いところだけで戻ります。

学校・授業での利用は自由です（再配布・販売はご遠慮ください）
先生用教材ページ